

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 : ランバージュアクア アウトコート
(ウォールナット)
推奨用途及び使用上の制限 : 木材保護塗料
輸入総販売元 : 株式会社 エービーシー商会
住 所 : 東京都千代田区九段南1-3-1
東京堂千代田ビルディング
担当部門 : インサル事業部
電話番号 : 0120-011-462
FAX番号 : 03-3581-4946

整理番号 : LOC-WN0010

作成 2020年1月7日

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

急性毒性経口 : 区分外
急性毒性経皮 : 区分外
急性毒性吸入(ガス) : 分類対象外
急性毒性吸入(蒸気) : 区分外
急性毒性吸入(粉塵) : 分類対象外
皮膚腐食性 : 区分外
眼刺激性 : 区分 1
呼吸器感作性 : 分類できない
皮膚感作性 : 分類できない
生殖細胞変異原性 : 分類できない
発がん性 : 分類できない
生殖毒性 : 分類できない
全身毒性(単回暴露) : 区分外
全身毒性(反復暴露) : 区分 1(呼吸器、)
吸引性呼吸器有害性 : 区分外
水生環境有害性(急性) : 区分外
水生環境有害性(慢性) : 区分外
オゾン層への有害性 : 分類できない



注意喚起語
危険

危険有害性情報

- ・重篤な眼の損傷
- ・長期または反復暴露による臓器の障害（呼吸器）

注意書き

予防策

- ・粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
- ・この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
- ・取り扱い後はよく手を洗うこと。
- ・保護眼鏡／保護面を着用すること。

応急措置

- ・眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- ・直ちに医師に連絡すること。
- ・気分が悪い時は、医師の診断／手当を受けること。

廃棄

- ・内容物／容器を国際／国／都道府県／市町村の規制に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

成分	含有量%	CAS No.	備考
水和酸化第二鉄（黄色酸化鉄）	1-5	51274-00-1	
水和酸化第二鉄（黄色酸化鉄）	5-10	1309-5-37-1	
プロピレングリコール	5-10	57-55-6	

4. 応急措置

目に入った場合

- ・直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。まぶたの裏まで完全に洗うこと。
- ・出来るだけ速く医師の診断を受けること。

皮膚に付着した場合

- ・付着物を布にて素早く拭き取る。
- ・大量の水及び石鹼又は皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。溶剤、シンナーは使用しないこと。
- ・外観に変化が見られたり、痛みがある場合には医師の診断を受けること。

吸入した場合

- ・蒸気、ガス等を大量に吸い込んだ場合には、直ちに空気の新鮮な場所に移し、暖かく安静にする。呼吸が不規則か、止まっている場合には人工呼吸を行う。嘔吐物は飲み込ませないようにする。直ちに医師の手当てを受けること。
- ・蒸気、ガスなどを吸い込んで、気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診断を受けること。

飲み込んだ場合

- ・誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受けること。
- ・嘔吐物は飲み込ませないこと。
- ・医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

5. 火 災 時 の 措 置

消火方法

- ・適切な保護具（耐熱性着衣など）を着用する。
- ・可燃性のものを周囲から素早く取り除く。
- ・指定の消化剤を使用すること。
- ・高温にさらされる密封容器は水を掛けて冷却する。
- ・消火活動は風上より行う。

6. 漏 出 時 の 措 置

- ・作業の際には適切な保護具（手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等）を着用する。
- ・漏出物は密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。
- ・付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置をすること。
- ・周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。
- ・河川等へ排出され、環境への影響を起こさないように注意する。

7. 取 扱 い 及 び 保 管 上 の 注 意

取扱い上の注意

- ・換気の良い場所で取り扱う。
- ・容器はその都度密栓する。
- ・皮膚、粘膜、又は着衣に触れたり、目に入らぬよう保護具を着用する。
- ・取扱後は手・顔等を良く洗い、休憩所等に手袋等の汚染保護具を持ち込まない。
- ・密閉された場所における作業には、十分な局所換気装置を付け、適切な保護具を付けて作業すること。

保管上の注意

- ・日光の直射を避ける。
- ・通風の良いところに保管する。
- ・盗難防止のために施錠保管する。

8. ば く 露 防 止 措 置

組成物質の有害性及び暴露濃度基準

＜物質名＞	＜管理濃度＞	＜ACGIH＞	＜IARC＞	＜LD50＞
水和酸化第二鉄（黄色酸化鉄）				
酸化第二鉄（赤色酸化鉄）	5 (Fe, Fume)mg/m3	3		
プロピレングリコール				20000mg/kg (rat)

暴露防止措置設備対策

- ・屋内塗装作業の場合は、自動塗装機等を使用する等、作業者が直接暴露されない設備とするか、局所排気装置等により作業者が暴露から避けられるような設備とすること。
- ・タンク内部等の密閉場所で作業する場合には、密閉場所の底部まで十分に換気できる装置を取り付けること。

暴露防止措置保護具

- ・取り扱いには保護メガネを着用すること。

- ・有機溶剤又は化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用すること。
- ・静電塗装作業を行う場合には、通電靴を着用すること。
- ・有機ガス用防毒マスクを着用する。
- ・密閉された場所では送気マスクを着用する。

9. 物 理 / 化 学 的 性 質

状態：液体

臭気：

pH値：情報を有していない

融点：情報を有していない

沸点：情報を有していない

引火点：9999.00℃

発火点：371℃（プロピレングリコール）

爆発限界：2.6%（プロピレングリコール）

蒸気圧：65.0Pa(20℃)（プロピレングリコール）

蒸気密度：

密度(比重)：1.14

溶解度：情報を有していない

n-オクタノール/水分配係数：情報を有していない

分解温度：情報を有していない

その他：情報を有していない

10. 安 定 性 及 び 反 応 性

反応性・安定性

接触による危険性物質：特に情報を有していない。

燃焼による有害性ガス：特に情報を有していない。

その他の反応性情報：特に情報を有していない。

その他危険性情報

- ・高温になると引火、燃焼する恐れがある。

11. 有 害 性 情 報

皮膚腐食性：酸化第二鉄（赤色酸化鉄）（区分2）

眼刺激性：酸化第二鉄（赤色酸化鉄）（区分1）

：プロピレングリコール（区分2B）

全身毒性単回暴露：酸化第二鉄（赤色酸化鉄）（区分3 気道刺激、）

全身毒性反復暴露：酸化第二鉄（赤色酸化鉄）（区分1 呼吸器、）

製品に関する有害性情報

- ・有機溶剤中毒を起こす恐れがある。
- ・腐食性がある。接触により、生体組織を破壊させる恐れがある。

12. 環 境 影 響 情 報

- ・漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取り扱いに注意する。特に、製品や洗

浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

13. 廃 棄 上 の 注 意

- ・廃塗料、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をする。
- ・容器、機器装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。
- ・排水処理、焼却などにより発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する放棄に従って処理を行うか、委託をすること。
- ・「毒物及び劇物の廃棄の方法に関する基準」に従って処理をすること。

14. 輸 送 上 の 注 意

共通

- ・取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。
- ・容器に漏れの無いことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実にを行うこと。

陸上輸送

- ・消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法律に定められる運送方法に従うこと。

海上輸送

- ・船舶安全法に定めるところに従うこと。

航空輸送

- ・航空法に定めるところに従うこと。

国連番号： ----

指針番号： ---

15. 適 用 法 令

消防法 : ー

有機溶剤中毒予防規則 : ー

特定化学物質障害予防規則 : ー

16. そ の 他

推奨する用途と制限 : 木材保護塗料

記載内容の問合せ先 : 東京都千代田区九段南1-3-1 東京堂千代田ビルディング
(株) エービーシー商会・インサル事業部
電話番号 0120-011-462 F A X 番号 03-3581-4946

発行又は改訂の理由 : 最新版への更新

引用文献 : 独立行政法人製品評価技術基盤機構 化学物質総合情報提供システム
製造メーカーからの SDS 情報

本文中の記載内容は、十分な配慮に基づき作成されていますが、その内容につき明示又は黙示の保証をするものではありません。